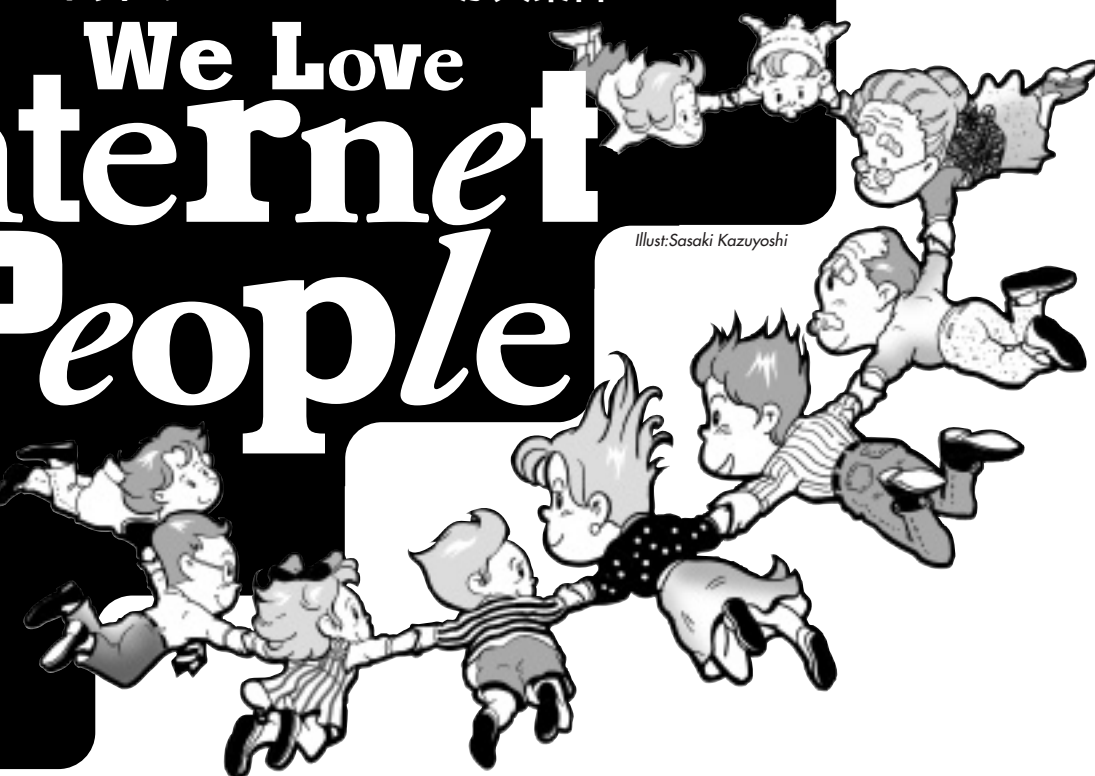


インターネットのCOOL & FOOLが大集合!

# We Love Internet People

Illust:Sasaki Kazuyoshi

このコーナーは、インターネットピープルの皆さんと編集部を結ぶページです。皆さんの楽しいメールがこのコーナーを作ります。Let's Access!



## Reader's Voice

私は中国の上海市に住む留学生です。このたびプロバイダーに加入し、その記念にメールを送ってみました。『インターネットマガジン』は上海でも手に入るようになりました。

(中国 上海市 匿名希望)

インターネット年賀状をたくさん使ったのに、お年玉プレゼントは全減でした。(宮崎県 佐久間さん)

この春から一人暮らしを始めます。これからは電話代を自分で払わなくては、いけないと思うと気が重いです。

(岩手県 望月健太郎さん)

ISDNにしましたよ! もっと面倒だと思っていたけど、意外に簡単に拍子抜けでした。

(福岡県 相馬仁さん)

大学院の入試を控えているというのに、ホームページの更新をしだしたら止まらなくなってしまいました。入試も気になるけど、中途半端なままホームページを置いておくほうがもっと気になる!(和歌山県 エイドリアンさん)

最近妙にお金がない。気がついたらノートパソコン、PHS、データカード、LANカード、大容量バッテリーなどなど…。そのうえ3月号の特集はISDN & SOHOルーター。ヤバイはなあ~。

(三重県 チシャねこさん)

NTTの「タイムプラス」がやっと認可されて嬉しいですね。私は夜にはあまりやらないので、ずっと「テレホーダイ」の恩恵が受けられなかったのです。これでもっともっとインターネットに接続できるゾ。(神奈川県 あやさん)

大学を卒業するので、使っていた学校のメールアドレスを使えなくなります。そのため、自分で契約したプロバイダーのアドレスへの「引っ越し」作業をしています。連絡する人が多くて、ホント疲れますよ。

(飯島清治さん)

子供の担任の先生がインターネットに詳しいようなので、先日「授業参観」をインターネットで中継してほしい」とメールしました。返事には「ぜひやってみてくださいね」とありました。実現したら親としては嬉しいですね。

(静岡県 坂本努さん)

ネットワークコンピュータ(NC)ってスゴそうだったのに、最近ではあまり話を聞きません。あれってハズしちゃったんですか?

(匿名希望)

ICQって便利ですね。ICQは電話とメールの間にあると思います。出張時には必須です。

(東京都 船場さん)

ダイヤルアップルーターを入れて、これまでスタンドアロンだった子供のコンピュータもネットワークに接続してやりました。おかげで家中ケーブルだらけになるね、電話代も爆発的に高くなるわでまっています…。

(茨城県 三好哲夫さん)

うちの近所の図書館にはインターネットに接続されたパソコンがあるのですが、最近では誰も触っていないようでさびしい気がします。

(匿名希望)

最近、息子(高2)がインターネットに興味を持ち始め、いろいろと教えてやっています。親子で時間が持てて楽しいです。将来、息子が家を出たらメールで連絡を取り合いたいですね。(山元敏也さん)

from Editor  
あなたが最近感じたことや思ったことをメールしてください。詳しくは393ページを!

家族でインターネットを使えたら、とっても便利で楽しいはず。でも、そう上手くいくはずもなく、「おとぼけ家族」は今日もまた騒動を巻き起こす…。皆さんから寄せられたそんなお便りを紹介します。



「うちのおばあちゃん(68歳)はパソコンのモニターをテレビだと思っています。先日、一人で留守番をしているときに、モニターのスイッチをオンにしてもいいこうに何も映らないのを故障と勘違いして修理に出してしまいました。」

(西野さん)

私の妻は、電子マネーのことを「これも銀行」のようなオモチャだと思っていて、インターネットでも買ったためらわずにショッピングをしまくっていました。本物の商品が届き、カードの請求が来始めたときになってようやく事態を把握したようです。オモチャだと思っていたらカード番号入れるか、普通!? 罰として当分はお小遣いなしです。

(東京都ついでさん)

わが家のコンピュータのハードディスクの深い階層には、息子が収集したH画像がたくさん保存してあります。おそらく父親(私)はコンピュータを使えないと思っているんでしょうね。隠すんだっつらもつと上手に隠せ!

(埼玉県匿名希望)

子供(中1)がインターネットをやりたいと言いだしたんです。が、「教育パパ」としてはインターネット上の猿猴画像などを息子に見せたくありません。そこで、ホームページ録画ツールを使って私が集めたコンテンツだけを見せています。ハードディスクにあるデータを見ていただけなので通信費などもかからないし、内容も安全なものばかりです。それでもコンピュータに詳しくない息子は「インターネットっておもしろいね」と言っています。私は悪い父親かしら?」

(静岡県けんたさん)



Jalan Jalan 通信

山森淳

URL <http://www.junmas.com/>

# アパカパー APA KHABAR!?

(元気イ!: マレー語)

今、マレーシアは太陽が真上にあります。午後の1時頃、建物の影は消滅してとても不思議な光景が見られるよ。それから東海岸のほうでは雨期も明け、島々ではいよいよダイビングのシーズン。珊瑚礁に囲まれた沖合ではシュノーケリングでも色とりどりの魚たちと戯れ楽しむことができます。今年のゴールデンウィークや夏休みにどうですか? 情報はJalan Jalanでじっくり収集してね。ところで今月号の発売日にJalan

Jalan2組目のカップル「とがり&てんこう」の結婚式がとり行われることになりました。2人とも末永くお幸せにね!

さて、オンライン、オフラインのやり取りが広く深くなってくると、「結婚」といった人間関係の変化だけじゃなくて、自分の人生の先行きを変えてみようという人も出てくる。

Jalan Jalanの掲示板にも「マレーシアで勉強したい、働きたい、住みたい」という投稿が増え、たくさ

## 第8回 「マレーシアで就職活動！」

んの人が日本を離れてどんどんやってくる。人生のステージを変えてみたいという人にとっては、インターネットで一気の世界が広がるのかもしれないね。日本の就職戦線も厳しいし、最近ではマレーシアで就職、転職活動をする日本の女子大生やOLがとて多し。

でもマレーシアは外国人の就労ビザ発給がとて厳しいから、実際はそう簡単ではないんだ。

Jun & Masも時には会社訪問に付き添ったりするんだけどなかなか雇ってもらえない。

訪問先の担当者に「なんとかありませんか?」と口出しすると「おたくは何なんですか?」と逆に聞かれ、「えっと...」

うーむ、ホームページ運営ってのもいろいろあるんだなあと思ひ知る。Jun & Masなのでありました...。(つづく)

山森淳 (Jun) ... 在マレーシア7年、1959年生まれ38歳。井上優 (Mas) 氏とともにマレーシア情報サイト「Jalan Jalan」を運営する。

「さあダイビングシーズン、東海岸レダン島」



# 私のホームページ自慢!

あなたの自慢のホームページを紹介します。どれも作者の自信作です。とくにご覧あれ!

Windows95はこれを使い!!

URL [http://www.osaka.xaxon-net.or.jp/~mat/top\\_menu/win95.htm](http://www.osaka.xaxon-net.or.jp/~mat/top_menu/win95.htm)

ウィンドウズ95を使っているあなたへ送る、オンラインソフト&市販ソフトを「お金」という観点から調査して検証した結果、より安くそしてより使える便利なソフトをご紹介します。

お小遣いの少ないお父さん必見です。新たに、キュートな女性によるソフトウェア講座を開設して、女性から見たソフトの利用法を掲載します。女性に人気のソフトは?

(shigeenさん)



シカゴ・ブルズ最新情報!!

URL <http://www.jah.ne.jp/~akihiko/>  
シカゴ・ブルズの試合速報やチーム事情、ナイキのエア・ジョーダン発売日予測、安売り店情報、電子掲示板、フリーマーケットなど、毎日500人以上のアクセスがあります。毎日インターネットで20か所以上、さらにアメリカの現地の知り合いからの生情報を元に更新。NBAの詳しい情報は英語でしか得られませんが、それを私がおもしろおかしく紹介していますので、NBAやシカゴ・ブルズ、マイケル・ジョーダンが好きな方はぜひ遊びに来て下さい。

(akiさん)

めぐちゃんのホームページ

URL <http://www2s.biglobe.ne.jp/~megumama/homepaze.htm>

最近はい主婦、特に育児ママがパソコンにはまってる傾向があります(私もそう)。1歳の娘を持つ私が、未熟な育児経験の中からの育児情報やメールでのアンケートを掲載しています。そのほかにも、掲示板や初心者でも作れるホームページのコーナーもあります。私もパソコン暦3か

月半の初心者ですが、更新ごとにいいページになっていくようにがんばってます。ちょっとさみしくなったら、見てもらってほっとできるようなそんなページにしたいと思っています。ママさんや妊婦さん、将来ママになりたい方にも見てもらいたいです。(土居聡子さん)

福岡県健康生きがいづくりアドバイザー協議会

URL <http://www.asahi-net.or.jp/~ic7m-nsmr/>

福岡県健康生きがいづくりアドバイザー協議会は、平成7年7月7日に福岡地区のアドバイザーを中心に結成し、研修会を行ったり、毎年秋には、市民を対象にフォーラムを開催しています。現在は17名と少数ですが、多彩な人が参加し、健康生きがいづくりのネットワークの核になりつつあります。

(協議会事務局長 西村雅宏さん)

from Editor

このコーナーで自慢のホームページを紹介したい方は、ページタイトルとURLに紹介文を添えて、編集部までメールしてください。紹介文に込められたあなたの熱意がアクセス増加につながります。詳しくは393ページを!

皆さんから寄せられた、インターネットを使ってチャレンジしていることや、インターネットのおかげで実現できたことなどを紹介します。

先日、修学旅行(高3)のスキ旅行がありました。なんと、その旅行に先生の1人がノートパソコンを持ってきました。グレンデではデジタルカメラで撮影し、毎日ホームページでその日のダイジェストを作って学校のサーバーに送っていました。校長先生からも音声メールが毎日届き、インターネットなんて知らない友人も「インターネットってすげえな!」って驚いていました。先生、かっこよかったです!(千葉県ヨークシャーさん)

バイト先でメールアドレスをくれるので、懸賞ミニアの私はインターネットの懸賞に応募しまくっています。これまでの5か月間に、石鹸詰め合わせ、腕時計、テレカ(合計5枚)、温泉旅館の宿泊券、イタリアンレストランの招待券...、絶好調です。(京都府西郷さん)

私の会社には東京とニューヨークにデザイン事務所があります。これまでファックスを使ってやり取りしていたドキュメントをインターネットでやり取りするようになりました。アドビのアクロバットでPDFファイルを作り、それを東京とニューヨークで送受信することで、東京が夜の間はニューヨークで業務を行うことができるようになりました。時差を上手に使って、通常の半分の納期で仕事が終わります。(東京都リスキーさん)

10年前に新婚旅行でイタリアに行ったときにみやげ物屋で見かけた置き物をインターネットで見つけることができました。少し高かったけど、オンラインで購入することもできました。以来、「探しものはインターネットで...」が私たち夫婦の合い言葉です。皆さんもどうぞ。(神奈川県木下香子さん)







テキストで表現する  
五七五の調べ

第五回



あなたのインターネットにまつわる思いを  
川柳で表現してください。  
投稿は常時募集しています。

直打ちで  
出ているページは 404 (file not found)  
雑誌な「直打ち」の「直打ち」を直打ちの「直打ち」  
(埼玉県かきこめ)

ねえ読んだ?  
知らぬと言われロメール  
「昨夜に送ったメールを読んでもくれたかな」と次の日聞いてみる。「何の「ロ」?」「ロなら口で言ったほうが早かった」  
(北海道関根政実)

五十秒  
待ってマスクが現れる  
何も解説はいらなくとも思いますが...  
(匿名希望)

# 編集部からのお知らせ

## AFTERCARE

4月号

「INTERNET YELLOW PAGES」

野間美由紀様のプロフィールの内容が間違っていました。訂正してお詫びいたします。

誤：現在「花とゆめ」で「パズルゲーム はいすくー」を、「別冊花とゆめ」で「Joker」を連載中。

正：現在「別冊花とゆめ」で「パズルゲーム はいすくー」シリーズと「Joker」を連載中。

また、一部ページ作者の意図に反した掲載がありましたことを深くお詫びいたします。

3月号 付録「ケーブル&コネクターハンドブック」

P.35の60「モデムセーバー」のメーカー名「サンワサプライ(株)」は「IBM Corporation」の誤りでした。お詫びして訂正させていただきます。なお、この製品は(株)アイ・ツー・モバイル専科、T-ZONE ミナミ館などで取り扱っております。

## アンケートにご協力を

読者の皆さまの意見を誌面に反映させるためにアンケートを行っています。アンケートの回答には、次の2通りの方法があります。

### ① 電子メール

アンケートフォームを請求する

ip-enq-req@impress.co.jpに電子メールをお送りください。タイトルや本文は必要ありません。パソコン通信からの場合のタイトルは適当で結構です。上記のアドレスに空メールを送っていただければ、アンケート記入フォームが差出人宛てに自動返信されます。

記入したアンケートを返送する

送られてきたアンケートに回答を記入して ip-enq@impress.co.jp までお送りください。

アンケートフォームの請求先 ip-enq-req@impress.co.jp

回答したアンケートの送信先 ip-enq@impress.co.jp

### ② はがき

本誌に添付されているアンケートはがきに回答を記入して郵便ポストに投函してください。切手を貼る必要はありません。

アンケートにご協力いただいた方の中から、毎月抽選で10名様にインターネットマガジン特製テレホンカードをプレゼントします。ご協力をお願いします。

# あの人

話題のホームページの作者はどんな人?

## INTERVIEW

神戸市に住むビデオジャーナリストの神田敏晶さんは、世界で一番小さなデジタル放送局、KNN( Kanda News Network )という日本で初めてのウェブ上の個人テレビ放送局を持っている。コンピュータやインターネット関係の世界中のイベントに出かけて行き、自らデジタルビデオを構えてインタビューなどの取材活動を行う。撮影した映像はエンコードして、ウェブにリアルビデオでオンデマンドで流している。インターネットなら、個人でもテレビ放送ができてしまう。そんな夢のような話を実現している神田さんに、神戸の事務所でお話をうかがった。



KNN( Kanda News Network )代表で、ビデオジャーナリストの神田敏晶さん。

味を持っていて、海外へ行って撮りまくってきたインタビューをまとめて、CD-Rに焼いて、980円で売ったこともあります。CD-ROMが1枚1万円とか2万円していた時代ですが、どこよりも早く作ってみたかったですね。

その延長線で、ウェブ上の放送局も始めたんですね。ご自身が画面に登場してレポートするようになったのは、いつ頃からですか？

阪神大震災のときですね。目立ちたがりだと思われるのがイヤだったんだけど、震災のときに、ヒゲがぼうぼうに伸びてきたりとか、お風呂に入れなくて、髪の毛がべしゃべしゃになっちゃったりというのを伝えたいと思って、カメラの前で「今日です、ひげがこんなに伸びています。まだ水は出ません」みたいなのをやったんです。その映像はテレビ局に提供したのでテレビでも放送されましたけど、画面に自分が登場するようになったのはそれからですね。

ウェブ上の放送局を始めたきっかけを教えてくださいませんか？

関西で「マックプレス」というフリーペーパーを作っていたんです。取材をするときは、マックの前で画面を見せてもらいながら根ほり葉ほり話を聞いて記事を書いていた。でも、帰ってきてテープを聞いても、その時見ていた画面がないからよくわからない。ちょうどソニーのパスポートサイズの8ミリビデオが出た頃で、これはいいと思って、画面をビデオで撮らせてもらいながら、取材をするようになりました。ビデオを撮るようになったのは、それがきっかけですね。もともとマッキントッシュはMacやクラシックの頃から使っていたんです。たぶん関西で一番早くDTPを始めたんじゃないかな。QuickTimeも出すぐの頃から興

だって、自分が画面に登場するって恥ずかしいじゃないですか。今は平気になりましたし、あえて好んでやっているところがありますけど(笑)。それをあえてやっているのは、やたらと物を写して見せるよりも、自分が現場でマシンガンのようにガンガン話したほうが視聴者に伝わる。トチろうが噛もうが、原稿を書いたのをアナウンサーが読むのとは違うんだから、ということですね。

ビデオをエンコードしてウェブに載せるのは、いろんな装備が必要で、個人では大変ではないですか？

そうでもないですよ。この間、フランスに取材に行ってきたんですが、そのとき持って行ったのは、キャプチャボードの入ったパワーブックとデジタルビデオだけです。取材が終

わったら、ホテルでテープをパワーブックに取り込んで、映像をエンコードして、インターネットに28.8KbpsのモデムでPPP接続して、FTPでアップロードしました。パワーブックのメモリーは62Mバイトですし、そんなにハイスペックじゃなくてもできるんです。ただ、よかったと思うのは、ノンリニアの放送用の機材には手をつけなかったことです。ウェブ上に載せるのは、4秒間に1コマ、160×120くらいの映像ですから、個人用の機材でもそこそこのものができてしまう。あとは、プログラムしておいて、寝ている間にエンコードすればいいですから、昔のLCが今でも現役でエンコードをやっています。マッキントッシュのいいところは、アップグレードカードを差し込めば、いつまでも現役で活躍してくれるところですね。

神戸市にあるKanda News Networkのスタジオ。自宅の倉庫を改造して作っており、専用線(T1)が引かれている。



海外でもガンガン英語でインタビューしていますが、語学はどこまで身につけたんですか。

実は英語を始めたのは30歳過ぎてからなんです。最初は通訳してもらっていたんですけど、そうすると相手との間にワンクッションあってどうも上手くコミュニケーションできない。質問するときは、中学校程度の簡単な英語ですればいりから何とかなるんですが、大事なものはヒアリングで、これは場数を踏むしかないですね。勉強をしている時間はなかったの、全部仕事を通じて、何とか聞くのと話すのはできるようになりました。たとえば、アメリカ人のユーザーグループの取材なんかに行くと、話も面白いけど、英語の勉強にもなるんです。英検は4級しか持ってなくて、3級は落ちてるんですよ(笑)。

それは驚きました。英語はどこかで勉強されたのかなと聞いていましたので。

でも、その程度の英語力でも大丈夫なんです。いまだに文章のほうは苦手ですけど。今回も、フランスではフランス語を使うようにしました。

「ケスクと付ければ質問になるんだな」という感じで、いい加減なんですけど(笑)。やっぱり最初はフランス語で話しかけないとダメだと思いましたが、「英語でもいいですか?」というくらいはフランス語で言わないと。語学力より、「その人のことを知りたい」、「コミュニケーションしたい」という気持ちが大事なんじゃないでしょうか。もちろん、関西人特有で人見知りしないし、人と会うのがとにかく楽しいというもあります。本当はコンピュータに向かって仕事したくないんです(笑)。

今後はKNNでどんなことをして行く予定ですか?

2001年12月1日から開始される宇宙旅行に、日本人として初めて仮予約したんです。世界中で25人

予約しているそうですが、宇宙旅行もしてみたいし、その25人がどんな人かというのにも興味があるんです。1200万円くらいかかりますから、これから毎年400万円貯金しないと行けないんで



マイクロソフト社のビル・ゲイツ会長の基調講演の開演前、会場の模様を取材する神田氏。会場を訪れていた本誌編集長を直撃。[98年1月、米国ラスベガスにて]

すけど、何とかが行って、レポートをしたいですね。ホームページ(2001年に始まる人類初の宇宙旅行 <http://www.mmjp.or.jp/jes-tour/space/space.html>)もありますよ。それから、9月にはイリジウムの衛星携帯電話が使えるようになりますから、あれを使って、世界中のどこからでも生中継ができるようになる面白いですね。アメリカにはけっこういるようですが、最近では日本でも、個人のインターネット放送局を作る人も出てきているようです。個人は寝る間も惜しんでお金をつぎ込んで作ったりしますよね。そういう好きでやっているアマチュアにはブ

口は勝てない。これからテレビのチャンネルが増えるというけど、日本ではCATVをやるには規制が多いし、お金もかかる。加入者数万人というCSより、URLを叩けばつながるインターネット放送局のほうがずっと訴求力はあるはずなんです。これからメディアで表現をしたいという、次の世代の若者のために舞台を作っておきたいし、とにかく、いろんなおもしろいもの、新しいものをどんどんやっていきたいですね。

(Interview & Text by 鈴木康之)



KNNのウェブサイト。インターネット関連ニュースやストリーミングコンテンツが満載だ。

URL <http://www.knn.com/>

## 投稿

このコーナーは読者の皆さんからの投稿で成り立っています。

## 大募集!

ぜひ! あなたのメールアドレス帳に『インターネットマガジン投稿(ip-box@impress.co.jp)』を登録してね!

### 「めざせ! 発明王」

インターネットをより便利で楽しいものにするために、皆さんが考えた新しい製品やサービスのアイデアをお寄せください。

### 「ああ、失敗...」

インターネットに関してのさまざまな失敗談をご紹介ください。

### 「カタカナ英語撲滅隊!」

インターネットやパソコン関連用語を日本語にしちゃいましょう! あなたの名訳(迷訳?)や新解釈をお待ちしています。

このほかにも、「インターネット川柳大会」「私のホームページ自慢」「Reader's Voice」、本誌の感想、新コーナー案などなど、どんなことでも結構ですから、身の回りで起こったことは、じゃんじゃんメールでお送りください。なお、投稿の際は、お名前(ペンネームも可)、ご住所も明記してください。

宛て先はすべて

**ip-box@impress.co.jp**

です。掲載された方にはテレホンカードをお送りいたします。投稿お待ちしております!



## [インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

**株式会社インプレスR&D**

All-in-One INTERNET magazine 編集部

[im-info@impress.co.jp](mailto:im-info@impress.co.jp)